

統合疼痛医学

1 担当教員名

【研究指導教授】	教授	牛田享宏
【科目担当者】	教授(特任)	西原真理

2 教育目標

(1) ねらい

近年、疼痛の発生・維持メカニズムは多岐にわたっており研究は進んできているものの、慢性化した疼痛を治癒させることは困難であるため、治療に苦慮している。そこで、学生はこの臨床上の問題点を基礎的、臨床的に克服し、多角的に疼痛患者の苦しみや負担を軽減することを目的とした研究を行い、慢性疼痛治療に反映させていくことを目標とする。また、将来の痛み治療におけるエキスパートとして、痛み研究・診療の中心となるような指導者に成長していくことを目標とする。

(2) 学修の到達目標

- ① 疼痛の発症とその維持メカニズムを理解できる。
- ② 様々な分野の疼痛関連の研究を通して、自身の専門分野にかかわる痛みの病態を説明できる。
- ③ 臨床、基礎に偏らない痛みに関する知識を理解できる。
- ④ 自身の研究発表を積極的に行い、様々な意見に触れることで、自らの研究プロジェクトを立案遂行できる。
- ⑤ 実際の疼痛患者の診療技術についても学び、実践する方法を理解する。

3 授業内容

【講義】	解剖学, 生理学, 薬理学, 病態生理, 治療法などの, 様々な痛みに関連した分野
【演習】	痛みの発生メカニズムにおける最新の論文(主に英語)の抄読および討論。 自身の研究の進捗及び結果の発表および討論。 実診療をカンファレンスなどを通して学び, 将来的に実践したり指導できる様になる。
【実験研究】	モデル動物を使用した疼痛の発生機序と治療法の確立 デジタルヘルスサイエンスを用いた疼痛の病態評価に関する研究 電気生理学的な疼痛伝達系の解明と治療への応用の研究

4 成績評価の方法・基準

研究テーマのみならず、自身で興味を持った分野の背景に熟知し、基本的な研究手技を取得し研究が進行しているかを評価する。さらに、研究結果を分析考察し、論文作成できるかを評価する。

5 教科書・参考図書

- ・疼痛医学, 田口敏彦, 他, 医学書院, 2020
- ・Wall & Melzack's Textbook of Pain (6th Edition), Stephen B, et al, ELSEVIER, 2013
- ・MANAGE YOUR PAIN, Michael N, et al, SOUVENIR PRESS, 2003
- ・痛みの集学的診療: 痛みの教育コアカリキュラム, 日本疼痛学会痛みの教育コアカリキュラム編集委員会, 真興交易, 2016
- ・慢性疼痛治療ガイドライン, 慢性疼痛治療, ガイドライン作成ワーキンググループ, 真興交易, 2018

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

研究テーマに関する論文等を読み理解した上で, 自身の意見を述べるができるようにするため, 1週間に7時間程度の予習・復習が望ましい。

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

与えられたテーマのみならず, 関連分野の研究も探索する。
基本的な研究手段を取得し, 研究が進行しているかを評価する。
研究結果を分析考察し, 学会発表や論文作成ができるかを評価する。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

定期的に研究課題に対する進捗報告を行う。

9 履修上の留意点

臨床に結びついた研究を行い, 将来, 発展応用できるように, 知識, 手技, 理論的整合性を身につける。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	牛田 享宏	第2, 4, 5 水	9:00~11:30	学際的痛みセンター教授室	内線 12040
教授(特任)	西原 真理	木	16:00~17:00	学際的痛みセンター	内線 12042